

地質ニュース

昭和 42 年 10 月

第 158 号

1967

解 説	カラーテレビのブームをおこした レアアース蛍光体とその資源	肥 田 昇 1
	第 3 次沖繩天然ガス鉱床調査の記録	福 田 理ほか 16
トピックス	昭和42年7月豪雨災害 ～兵・神戸の災害にみられる共通点	黒 田 和 男 8
	地球化学的標準試料について	安 藤 厚 23
講 座	地球化学の話 ④	高 橋 清 28
海外事情	西オーストラリアの鉄鉱石	宮本 弘道 編 39
	ラ・リオハへの旅	高 島 清 48
	アメリカ合衆国地質調査所の 同位体地質学 その研究と生活	倉 沢 一 56
	学 会 掲 示 板	27

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

引 き ず り 褶 曲 drag-fold

(宮城県女川町江の島)

江の島全体は 稲井層群(三疊系)の薄層理互層が卓越し より砂質な部分と泥質な部分とが交互し 西に40~50° 傾斜した単斜構造である。この転倒した褶曲は 三疊系全体の構造を規定するような大きな褶曲の翼部にあらわれた二次的オーダーの小褶曲である。その形態から右方(現地では西側)には大きな向斜が 左方(東側)には大きな背斜の存在が予測される。ふつうdrag-foldsは相対的により強い(competent)地層の間に弱い(incompetent)地層がはさまっている場合 強い地層の引きずり作用によって生ずる。個々の露頭では判定困難な大構造の推察に有効である。

この小褶曲自体は みごとな同型褶曲(similar-folding)であり みかけの層理面に垂直に地層の厚さを測った場合 翼部で薄く軸部ではかなり厚くなっているのが特長である。また小褶曲軸面に平行なスレート劈開の発達が著しく しばしば剪断性の小断層もみられる。

(滝沢 文教)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社